



防災センターで震災に備えよう！ ～3.11 あの日を忘れない～



3月11日に、市消防本部・市防災センターで防災を考えるイベント「防災センターで震災に備えよう！～3.11 あの日を忘れない～」を開催しました。

市民の皆さんに震災時の対応や防災の意識を高めていただくことを目的に、東日本大震災の被災地写真展示や記録映像の映写、避難所体験、緊急消防援助隊のエアータント生活体験などを行いました。約350人が来場し、震災発生から1年となる節目に、日ごろの備えを確認していました。

液状化現象などの実験コーナー

今日のおやつは佐渡産！

3月5日、佐渡市立の各保育園で、佐渡産の米粉や干し柿、チーズなどを使ったおやつが出されました。このおやつは、昨年10月に開催された地産地消フェスタのスイーツコンテストで優秀賞になった、羽茂高校 みきと愉快的仲間達の「チーズと干し柿のころころケーキ」をもとに、保育園のおやつ用にアレンジしたものです。

羽茂保育園では、レシピを考案した羽茂高校の生徒が園児とともにおやつ作りを行いました。園児たちは高校生に教えてもらいながら、生地に干し柿とチーズを包んで丸め、楽しくおやつ作りに挑戦していました。試食では、「おいしい！」と大好評でした。



若い感性で佐渡を表現

高校生が佐渡の魅力題材に版画の腕を競う「第12回全国高等学校版画選手権大会（はんが甲子園）」が、3月17日から21日にかけて行われました。相川体育館では、佐渡中等教育学校をはじめ全国の高校から予選を勝ち抜いた14校が、みずみずしい感性で版画制作に取り組んでいました。最高賞の文部科学大臣賞には、青森県立青森戸山高等学校が選ばれました。



版画制作の様子(佐渡中等教育学校)



文部科学大臣賞の青森戸山高等学校

「おいしい」佐渡の味覚をたっぷり

3月17日から20日の4日間、真野活性化センターいぶき21で「よってけまつり・さど食の陣」が開催されました。

あんこうの吊るし切りや手打ちそばの実演のほか、日替わりの大鍋汁、佐渡天然ブリカツ丼やカキの殻焼きなど多数の出店があり、来場者は佐渡の郷土料理を堪能していました。



あんこうの吊るし切り

